はじめに

次々と田畑に苗が植わり、初夏の穏やかな風景が立ち現れると同時に、山にも翠の深まりを感じる今日この頃。降ったり止んだりを繰り返す気分屋の空をにらみつつ、中学生は陸上やバドミントンの大会に臨み、小学生は暇があれば外に出てサッカーなどの遊びに興じています。

利賀でもいよいよ夏山シーズン。山村留学センターでは、今年度初の登山活動として金剛堂山登山を行いました。幸運にも晴天に恵まれ、子どもたちも山の自然の雄大さを感じながら、皆で歩ききることができました。

活動の数週前には、金剛堂山の草刈りや山開きに参加させていただいたのですが、登山道の維持や振興も利賀の方の思いや継続あってのものなのだと改めて感じる機会となりました。この頃は、各地区で草刈りも始まり、景観や生活の維持のため、たくさんの人が協力しあって作業する姿には、いつも頭が下がる思いです。留学センターの職員としても、こうした地道な作業への参加を怠らず、子どもたちの過ごす場として、また、利賀のいち住民として、地域の環境整備にも協力していけたらと思うところです。

気づけば夏休みまで残り一か月。夏に向かう中では、田畑の苗も成長し、キャンプや川遊びなどの活動もはじまります。思い切り季節を楽しみながら、まずは子どもたちと共に一学期をやりきりたいと思います。

松浦　実穂

金剛堂山へ！

【活動日程】

5／20　避難訓練
5／21　AM 畑の作業、きのこの植菌
　　PM 田植え
5／23　ホームステイ入り
5／27　週末コース①
　　（山菜とり、田植え）
6／1　センター入り
6／3　（小）個人体験活動
6／4　畑作業
6／10　金剛堂山登山
6／11　田の作業

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp　／　WEB：http://www.nanto-toga.com/

5／21　田植え

代かきの活動から２週間、晴天の中で田植えをすることができました。当日の朝に中学３年生が田んぼに筋をつける作業を行いました。全員での田植えは午後からスタート。筋に沿って、苗を４本ずつちぎって植えていきます。途中、「やばい！足が…！」と転んでしまったり、投げてもらった苗を受け取り損ねて泥だらけになったりと、留学生の中には代かきの時のように汚れてしまった子もいました。

田んぼの作業はここからが勝負の時。今後は雑草取りを頑張っていきたいと思います。

5／21　きのこの植菌

山村文化体験の一環としてきのこの植菌をしました。大きな原木を扱うので数人で協力して行いました。「ここ押さえるからドリル打ち込んで良いよ。」と声をかけあって作業する留学生の姿がありました。大変な作業でしたが、全員がそれぞれ１本ずつの原木に植菌をすることができました。ある留学生が種駒を木槌で打ち込む際の効率的な方法を発見し、「これこうやって打ち込んだ方が早いし楽だよ。」と他の留学生に教えていました。

6／10　金剛堂山登山

およそ 11.6kmに及ぶ山道を全員で歩きました。「やばい、全然疲労感じてない。今回いけるわ。」「行動食に入ってる塩サイダー飴が５個あれば山頂まで余裕でいける！」と話をしながら進んだので、楽しみながら歩き続けることができました。見晴らしのいい場所に来ると何人かで「ヤッホー！」と叫んだりしました。皆が最後まで頑張り、予定より１時間も早くゴールに着くことができました。

次は白山登山に挑戦します。次回も頑張ります！

さいしょらへんは、どういう山か楽しみでした。いろいろな植物がありました。行動食がすごくおいしかったです。行動食で一番好きなのは、ソーセージとかきのたねです。（こうき）

週末コース①　山菜とり・田植え

南砺市の小・中学生を対象に、土日を使った１泊２日の体験活動を、今年度は４回計画しています。今回はその１回目でした。１日目は山菜採り、２日目は田植えを行いました。

最初、子どもたちは緊張していたものの、慣れていくにつれて「川に行こうー」「山菜を袋いっぱいに採る！」と積極的になっていきました。山菜は実際に袋いっぱいに採り、夕食の天ぷらにしました。想像以上のボリュームで大満足でした。

２日目の田植えは、留学生と一緒に元気に行いました。田んぼに入るときは、「気持ち悪い～！」と騒ぎながら、土の感触を楽しんでいる様子でした。その後の空いた時間は川遊び。全身びしょびしょになるまで川に入り、自然の中での活動を満喫していました。

センターの田植えをしたときには、大量のブヨに刺され、痒みに嘆く羽目になりました。しかし、今回はそんなことはなく。また、横に糸を張る方法で、楽しく新鮮な気持ちで植えました。
やっぱり虫よけ！文明の力って偉大だね。（てっぺい）

みらい留学農事歴

5/21 畑畝立て
　　田植え
6/3 畑の雨除け
　　設置（小学生）
6/4 苗植え・播種
6/11 田の雑草とり
　　（小学生）

【畑】５月２１日は、畑に畝を立てました。平ぐわで土を寄せ、マルチをかける作業を、皆で協力して行いました。６月３日は、小学生がトマトのための雨除け（支柱とビニール）を設置しました。飲み込みが早い４人で、１つめのセットを組み立てると、「次こっちのパイプだよ！」「僕こっちやるね」と声を掛け合い、２つ目は倍ほどのスピードで組み立てていました。翌日は全員で苗植えと種まき。トマト・ナス・ピーマンなどの苗を植えて支柱を立て、枝豆やトウモロコシ、小松菜などの種もまきました。「トマト植えたい！」「じゃあ小松菜やる！」と積極的な一同。この日もスムーズに作業することができました。その後、毎日当番の人が水をやりつつ成長を見守っています。

【田んぼ】今月の田んぼは、田植えに雑草取りと二つの作業を行いました。センターの田んぼは、化学肥料や除草剤を一切使用していないため、田植えが終わったら１週間もしないうちに雑草たちが顔を出し始めました。予定していた作業日よりもだいぶ前に雑草が広がってしまったため、最初の草取りは指導員が行い、１１日に小学生４人で除草作業を行いました。除草には柄の長い草かきを使い、稲の株間を縫うように除草をしていきました。
昨年度は草取りを怠ってしまったためにかなり収量が少なかったのですが、今年はできる限り留学生にも除草作業をがんばってもらい、収量増加を目指していきたいと思います。

保護者だより

今年５年生の智司が参加させていただいております土方です。

智司が、１年間もの期間、親元を離れて山村留学をしたいと言い出したときには驚きましたが、体験会や説明会に参加させていただき、年が明けて参加が決まったときには家族でとても喜びました。しかも、なんと留学先は利賀村だということなのです。

実は父親の私は、いまも交流が続いている武蔵野市立第二小学校の出身です。私は気楽に、ご縁だなぁなんて思っていたのですが、これは 50 年以上に渡る交流にご尽力いただいている利賀の皆様の努力の賜物なのだと、この文章を書きながらやっと気付いた次第です。今更ながら頭が下がる思いです。また、我が家では、もう一つご縁がありまして、私の母(智司の祖母)は高岡の出身なので、私が子供の頃は家族でたびたび高岡に帰省に来ていました。先日の運動会で利賀の皆様の話し声が聞こえてきた際には、富山のアクセントだ！と、とても懐かしい気持ちになりました。母に運動会の写真を送ったところ、麦屋節だ、私も子供の頃に習ったわ、と喜んでおりました。

次は智司が利賀村での生活をどのように自分の中に取り込んでいくのか、どんな縁を紡いでいくことになるのかが楽しみです。楽しいことも困難なことも色々起きると思いますが、どちらも楽しんで過ごしてきてくれるといいなと思います。

皆様よろしくお願いいたします。

日々のあれこれ♪♪

生けすのニジマスをすくって…

調理しました！

歯みがき中…

皿まわしセットが人気♪

くま爺のつぶやき・・・

統括主幹　山本 光則

５月の末日、「利賀地域入村者座談会」に参加した。当日、利賀地域へのUIJ ターン者等と地元の方々併せて２５名が語り合った。入村者から村との出会いやきっかけについての話題が。３０年以上も前に移住された方もおられた。世界演劇祭や上畠アート、雪祭り等のイベント参加で村に魅せられ移住された方や、村を離れ都市部で働いていたがふるさとの暮らしの良さに気づきに U ターンされた方も。それぞれに村での暮らしの良さや課題、これからの暮らしや村への想いについても熱い意見が交わされ、遅くまで歓談した。

私自身も山村留学が縁で ８ 年前に初めて村を訪ね、単身赴任で生活の拠点を移してから４年目になるが、いろいろな方との出会いがあり豊かな自然と文化にふれ山村の暮らしを堪能している。月一で奈良の自宅に帰ろうと計画は立てているが、だんだんと少なくなってきた。利賀村の懐の深い多様な魅力に酔いしれる毎日である。